

証券コード：7681



株式会社 レオクラン

2021年9月期第3四半期 決算補足説明資料

2021年8月12日

 **目次**

1	2021年9月期第3四半期決算実績	3
2	2021年9月期決算見通し	9
3	配当方針	14
4	業績・財務ハイライト	15



新型コロナ感染拡大の影響

<2021/9期3Q決算における影響>

- メディカルトータルソリューション事業では、足元の受注状況に大きな変化はなく、各案件の進捗は概ね想定通りに推移しており、影響は軽微。訪問営業等の営業活動が制限されたことにより販管費が減少
- 遠隔画像診断サービス事業、給食事業においても、顧客別の需要増減はあるものの影響は軽微

<2021/9期通期決算において予想される影響>

- 感染再拡大の影響は要注意だが、現時点で事業活動の再低下は想定せず
- メディカルトータルソリューション事業における病院の新增改築工事の進捗、大型機器のリプレース案件等へのコロナ禍の影響は想定せず
- 遠隔画像診断サービス事業の取扱件数、給食事業の販売数においても、コロナ禍の影響は想定せず



2021年9月期第3四半期 経営成績①

- メディカルトータルソリューション事業では、想定通り上期偏重が特に顕著な収益構造。大半の大型案件の売上計上時期が第2四半期連結累計期間に集中。増収効果による売上総利益の増加、深耕営業の強化等により売上総利益率も向上。前年同期が低水準であったこともあり、前年同期比で大幅な増収増益
- 遠隔画像診断サービス事業では、着実に取扱件数の増加を図り、安定した成長基調を維持
- 給食事業では、既存受託施設への販売増加及び新規受託施設の獲得により緩やかな成長基調を維持

経営成績の推移

(百万円)	2020/9期 3Q実績	2021/9期3Q		2021/9期通期	
		実績	前年同期比 増減率	修正予想 ('21/6/14)	進捗率
売上高	15,724	21,472	+36.6%	26,076	82.3%
メディカルトータルソリューション	14,971	20,637	+37.8%	24,965	82.7%
遠隔画像診断サービス	410	482	+17.7%	644	74.9%
給食	343	351	+2.5%	466	75.5%
営業利益	22	785	34.7倍	549	143.0%
メディカルトータルソリューション	▲42	691	—	429	161.2%
遠隔画像診断サービス	32	62	+93.7%	85	72.7%
給食	30	29	▲2.6%	34	85.3%
調整	2	2	▲0.6%	—	—
経常利益	26	800	30.6倍	567	141.0%
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	▲4	540	—	371	145.4%
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	▲2.49	276.31	—	190.02	—



2021年9月期第3四半期 経営成績②

- メディカルトータルソリューション事業において、今期は特に上期偏重が顕著な収益構造であることから、第3、第4四半期連結会計期間は、売上高に対して販管費の負担が大きく、利益面ではマイナスとなる傾向
- メディカルトータルソリューション事業の各年度・四半期のボラティリティは、狩猟型のビジネスモデルと、取引先の医療機関等の会計年度の関係により、売上計上時期が3月や9月に集中する傾向があるため。四半期の業績は、通期の業績に連動せず

経営成績の推移

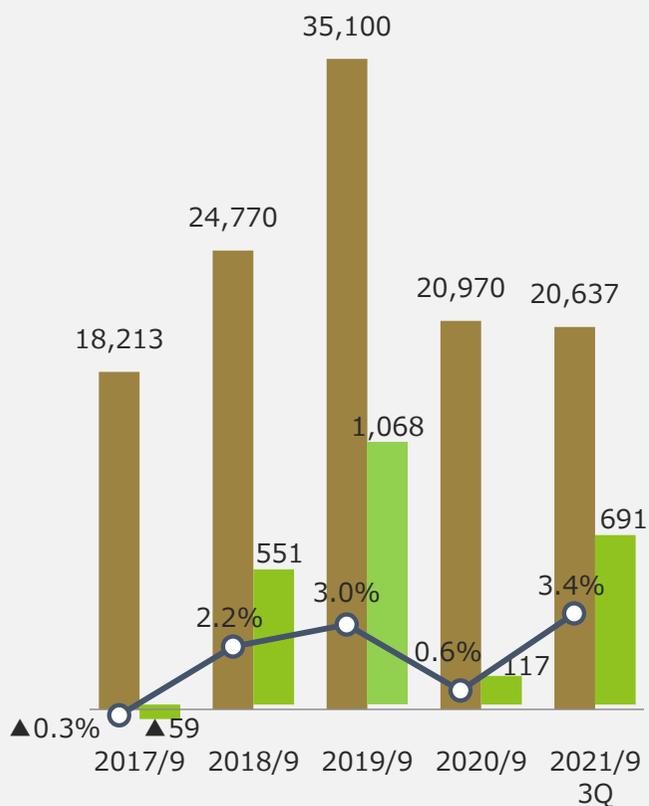
(百万円)	2019/9期	2020/9期				2021/9期			前年比 差異
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
売上高	7,860	6,208	6,132	3,384	6,272	7,971	8,907	4,593	+1,208
メディカルトータルソリューション	—	5,944	5,886	3,140	5,999	7,691	8,624	4,321	+1,181
遠隔画像診断サービス	—	153	132	124	157	162	164	155	+30
給食	—	110	113	119	115	117	118	116	▲2
営業利益	5	23	62	▲63	181	405	445	▲64	▲1
メディカルトータルソリューション	—	▲2	41	▲80	159	370	410	▲89	▲8
遠隔画像診断サービス	—	17	8	5	13	23	21	16	+11
給食	—	7	11	11	7	9	12	7	▲3
調整	—	0	0	0	0	0	0	0	▲0

※ 上記の四半期会計期間の数値については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく有限責任監査法人トーマツの四半期レビューは受けておりません。

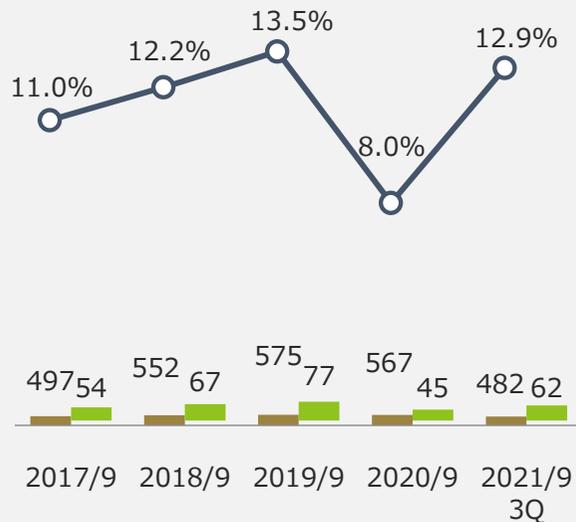
セグメント別業績推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業では営業利益率が改善。これは、主に増収効果による売上総利益の増加、深耕営業の強化等による売上総利益率の向上に注力したことが寄与
- 遠隔画像診断サービス事業、給食事業でも主に増収効果により営業利益率が改善

メディカルトータルソリューション事業



遠隔画像診断サービス事業



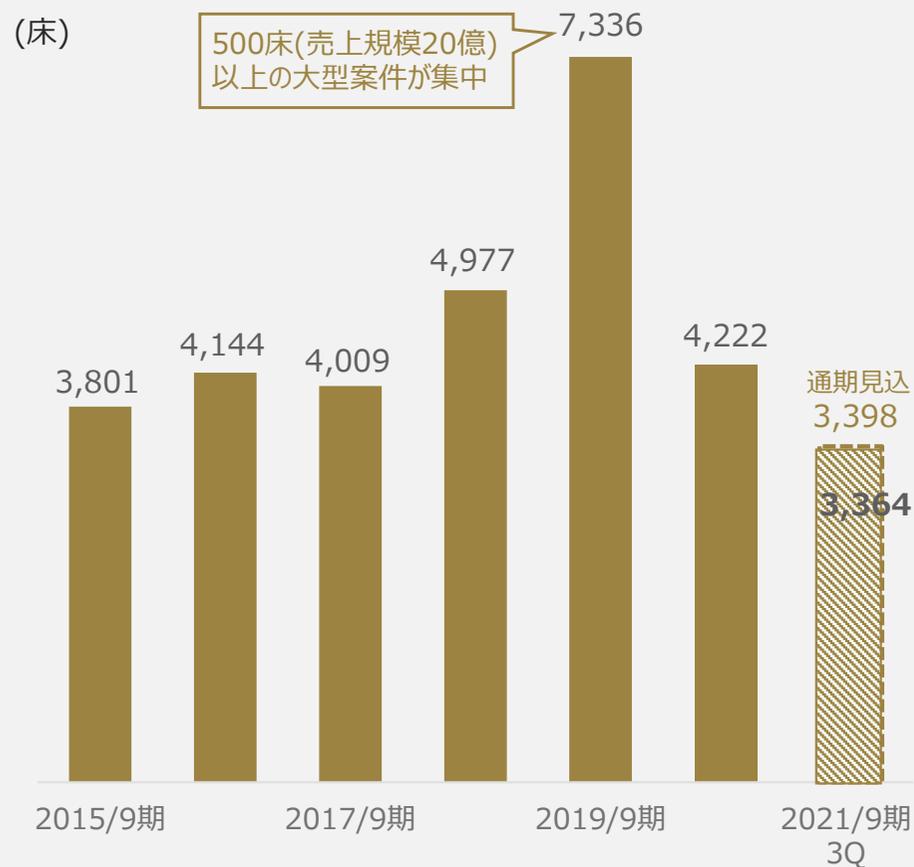
給食事業



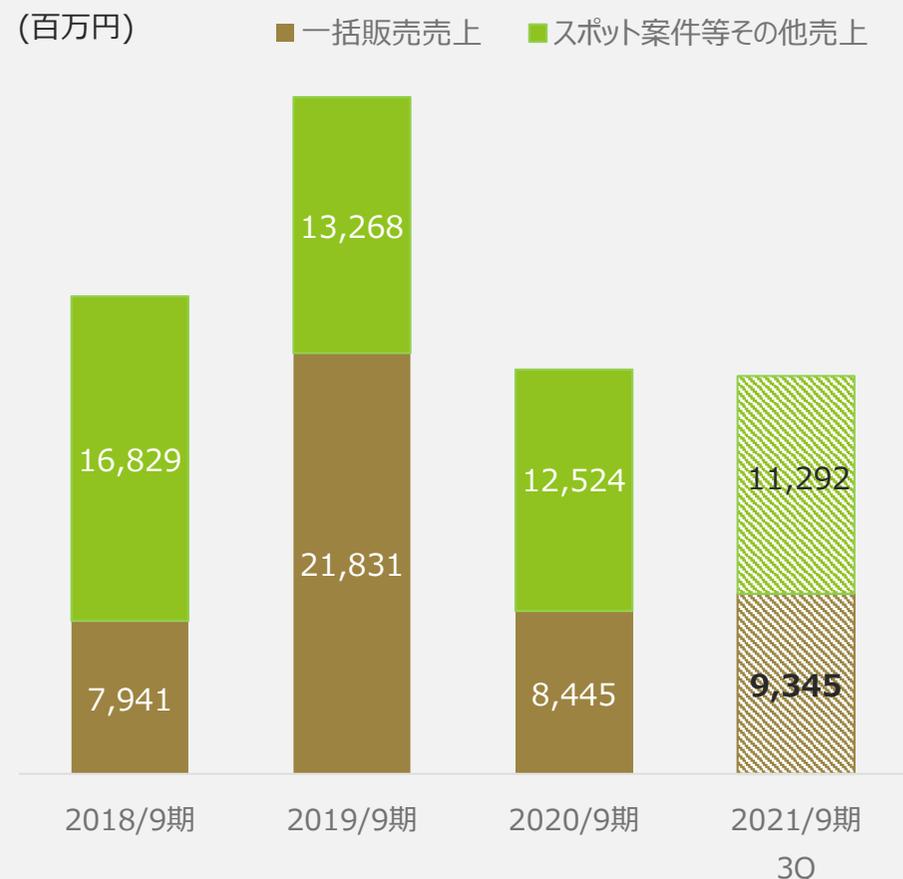
顧客（新規増改築需要）の推移と内訳

- 2021/9期の新增改築顧客の病床規模は過年度に比べて小さいものの、深耕営業の強化等により1床当たりの売上高は増加
- 今期は、大半の一括販売案件の売上計上時期が上期に集中。3Q終了時点では、前年を上回る水準まで積み上げ

新規増改築顧客（一般病院）の売上病床数合計推移



メディカルトータルソリューション事業売上に占める
新規増改築向け一括販売の売上比率推移

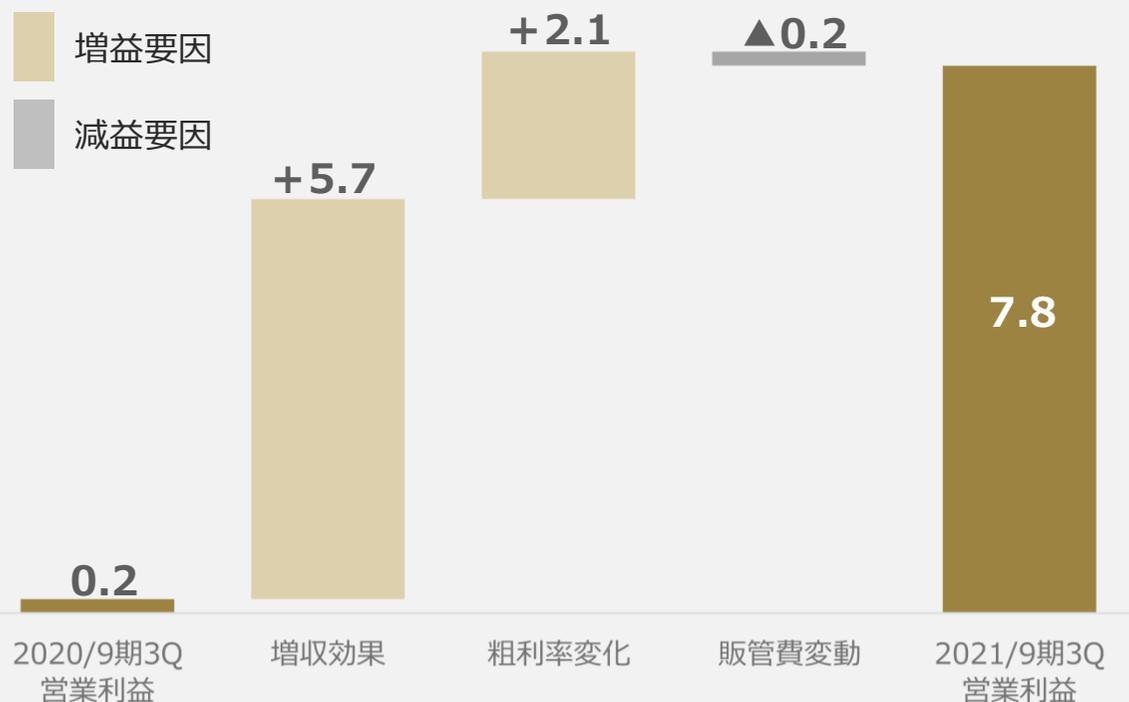


2021年9月期第3四半期 営業利益増減要因分析

- 大幅増益の主因は、増収効果による売上総利益の増加と深耕営業の強化等による粗利率の改善。前年同期が低水準であったことも増加幅が大きい要因
- 販管費は、費目ごとの増減はあるものの、対前年同期比で微増の抑制基調で推移

営業利益増減益分析

(億円)



- 売上高の増加 +5.7億円
 メディカルトータルソリューション事業において一括販売案件、スポット的な新規案件受注ともに好調に推移していることが寄与
- 粗利率変化 +2.1億円
 医療機器の一括販売案件を中心に粗利率が改善
- 販管費変動 ▲0.2億円
 人件費の増加があったものの、上場関連費用の減少及びコロナ禍での訪問営業制限による営業経費減少等、前年同期比微増の抑制基調で推移



2021年9月期第3四半期 財政状態

- 前期末比では、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により現預金が増加したものの、売上債権の減少により総資産が減少。これは、大型案件の売上計上が前期4Qに集中し、前期末において売上債権が一次的に増加していたため
- 有利子負債はさらに減少。ネットキャッシュ構造に変化はなく、事実上の無借金経営を継続
- 仕入債務の減少により、自己資本比率は44.6%に改善（前期末は35.1%）

財政状態の推移

(百万円)	2019/9期	2020/9期	2021/9期3Q	前期末比差異
流動資産	11,573	12,198	10,396	▲1,801
現預金	6,182	4,450	6,148	+1,697
受取手形・売掛金	5,269	6,652	3,342	▲3,310
棚卸資産	28	60	59	▲0
その他	97	1,034	845	▲188
貸倒引当金	▲3	▲0	▲0	▲0
固定資産	1,241	1,215	1,196	▲19
総資産	12,814	13,414	11,593	▲1,820
負債	8,474	8,596	6,297	▲2,299
買掛金	6,407	6,282	3,837	▲2,445
有利子負債	433	338	135	▲202
その他	1,632	1,975	2,323	+347
純資産	4,340	4,817	5,296	+478
負債純資産合計	12,814	13,414	11,593	▲1,820

2021年9月期通期業績予想①

- 主力のメディカルトータルソリューション事業において、医療機器の一括販売案件の進捗及びスポット的な新規案件受注が順調に推移。翌期以降へ期ずれ等の懸念があった案件も、今期の売上計上となる見通しがついたこと及び新型コロナウイルス感染症により訪問営業等の営業活動が制限されたことにより、販売費及び一般管理費が減少したことを主因に、業績予想を上方修正

経営成績の推移

(百万円)	2019/9期	2020/9期	2021/9期		修正予想前期比較	
			前回予想	修正予想 (‘21/6/14)	差異	増減率
売上高	36,109	21,996	24,593	26,076	+4,079	+18.5%
メディカルトータルソリューション	35,100	20,970	23,585	24,965	+3,994	+19.0%
遠隔画像診断サービス	575	567	547	644	+77	+13.6%
給食	432	458	460	466	+7	+1.6%
営業利益	1,190	204	352	549	+345	+168.9%
メディカルトータルソリューション	1,068	117	282	429	+311	+264.9%
遠隔画像診断サービス	77	45	45	85	+40	+88.7%
給食	41	38	24	34	▲3	▲9.2%
調整	3	3	—	—	▲3	—
経常利益	1,184	207	363	567	+360	+173.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	732	120	238	371	+250	+207.4%
1株当たり当期純利益 (円)	411.31	62.51	121.81	190.02	+127.51	+204.0%



メディカルトータルソリューション事業の今期の特徴と通期見通し

- 今期は、当初の想定通り、大半の大型案件が上期に集中し、上期偏重が顕著。売上連動経費が少ないことから下期は営業利益を押し下げ。これは、売上高は前年下期と同水準であるものの、スポット案件等による売上が大半を占め、比較的、売上総利益が低い案件が多いことが主因

経営成績の推移

(百万円)	2019/9期		2020/9期		2021/9期			
	上期	下期	上期	下期	上期	下期 修正予想	通期	
							修正予想	前回予想
売上高	16,937	19,171	12,340	9,656	16,878	9,197	26,076	24,593
メディカルトータルソリューション	16,439	18,660	11,831	9,139	16,316	8,649	24,965	23,585
遠隔画像診断サービス	282	293	285	281	327	317	644	547
給食	215	216	223	235	235	231	466	460
営業利益	715	474	86	118	850	▲ 301	549	352
メディカルトータルソリューション	641	426	38	79	781	▲ 353	429	282
遠隔画像診断サービス	48	28	26	18	45	39	85	45
給食	22	18	19	18	22	12	34	24
調整	1	1	1	1	1	▲ 1	—	—
経常利益	708	475	87	119	862	▲ 295	567	363
親会社株主に帰属する当期純利益	435	297	44	76	588	▲ 217	371	238

※ 2019/9期は当社集計値。下期実績(見通し) = 通期実績(見通し) - 上期実績 で算出

2021年9月期通期業績予想②

- メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売では、前期比で売上高、件数ともに増加見込み。20億円以上の大型案件の増加は利益率改善に大きく寄与する見通し
- ただし、受注端境期からの脱却にはまだ至らず。回復は2022/9期以降となる見込み

メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

(百万円)		2019/9期	2020/9期	2021/9期 修正見通し	前年比 差異
20億円以上	売上高	15,277	2,562	4,686	+2,124
	件数	4	1	2	+1
	平均単価	3,819	2,562	2,343	▲219
10億円以上	売上高	4,634	2,954	1,476	▲1,477
	件数	3	2	1	▲1
	平均単価	1,545	1,477	1,476	▲0
1億円以上	売上高	1,833	2,856	3,271	+414
	件数	6	8	10	+2
	平均単価	305	357	327	▲29
1億円以下	売上高	86	71	69	▲1
	件数	1	2	1	▲1
	平均単価	86	35	69	+34
合計	売上高	21,831	8,445	9,504	+1,059
	件数	14	13	14	+1
事業売上に占める一括販売比率		62.2%	40.3%	38.1%	▲2.2pt

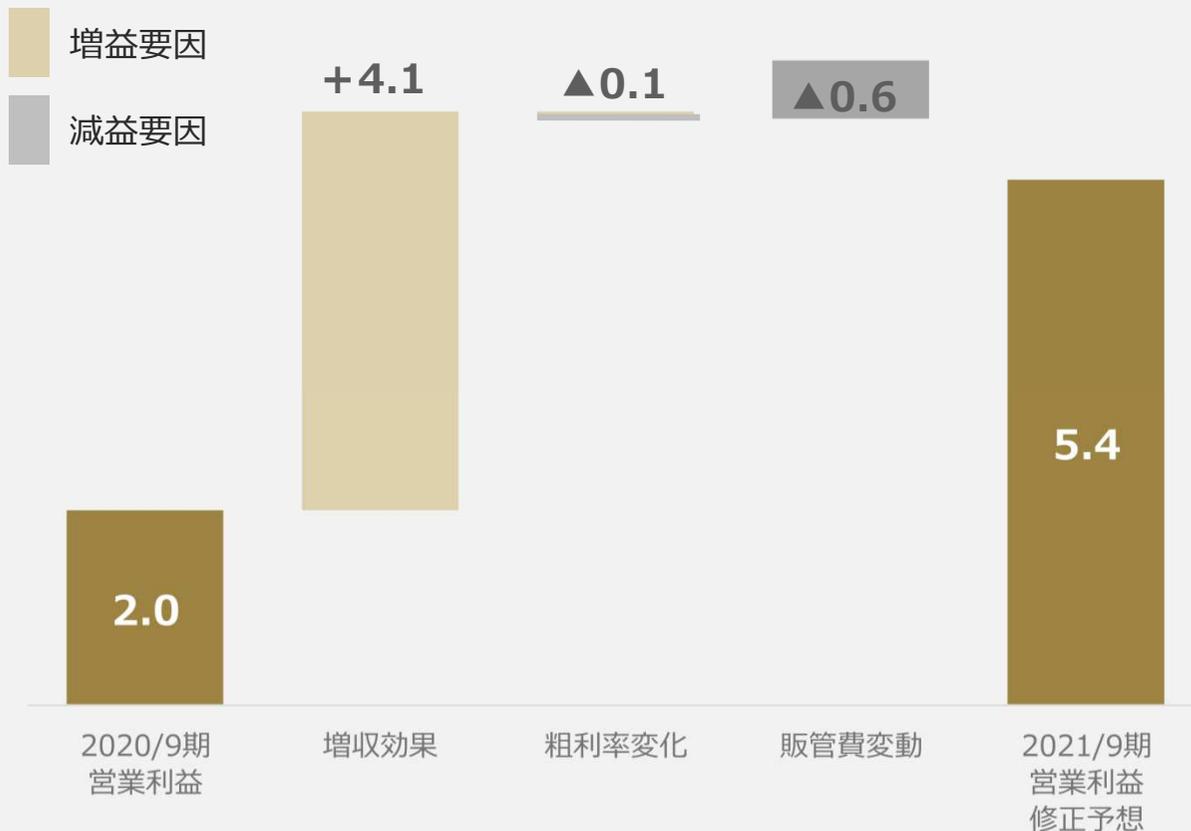


2021年9月期 営業利益増減要因分析

- 増益を牽引するのは、大口案件の増加等、端境期が徐々に緩和してくることによる増収効果。粗利率は概ね前年と同水準となる見通し
- 一方、営業力強化に向けての新卒採用等による人件費の上昇等、コスト面では若干の増加を見込むも、増収効果で吸収し、営業増益となる見通し

営業利益 想定増減益分析

(億円)

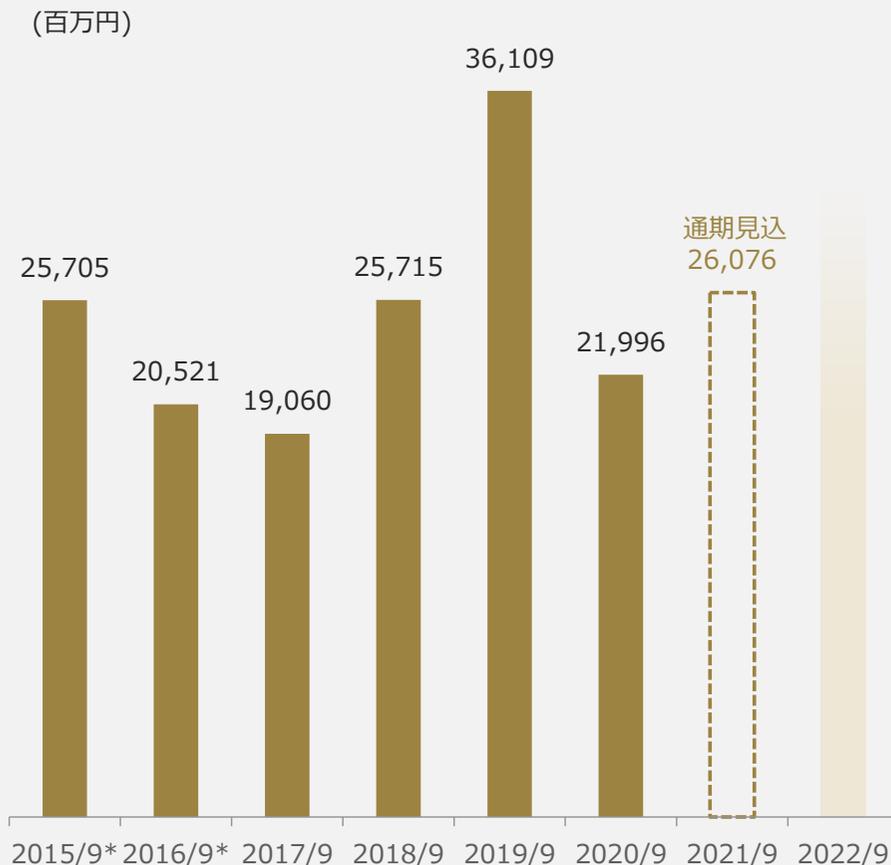


- 売上高の増加 +4.1億円
 メディカルトータルソリューション事業において一括販売案件、スポット的な新規案件受注ともに好調に推移していることが寄与
- 粗利率変化 ▲0.1億円
 医療機器の一括販売案件では深耕営業の強化等により粗利率の改善がみられたものの、低採算のスポット案件等の影響をカバーしきれず微減
- 販管費変動 ▲0.6億円
 新卒採用及び既存社員の昇給等による人件費の増加があったものの、上場関連費用の減少及びコロナ禍での訪問営業制限による営業経費減少等により若干増加の抑制基調で推移する見通し

長期業績推移

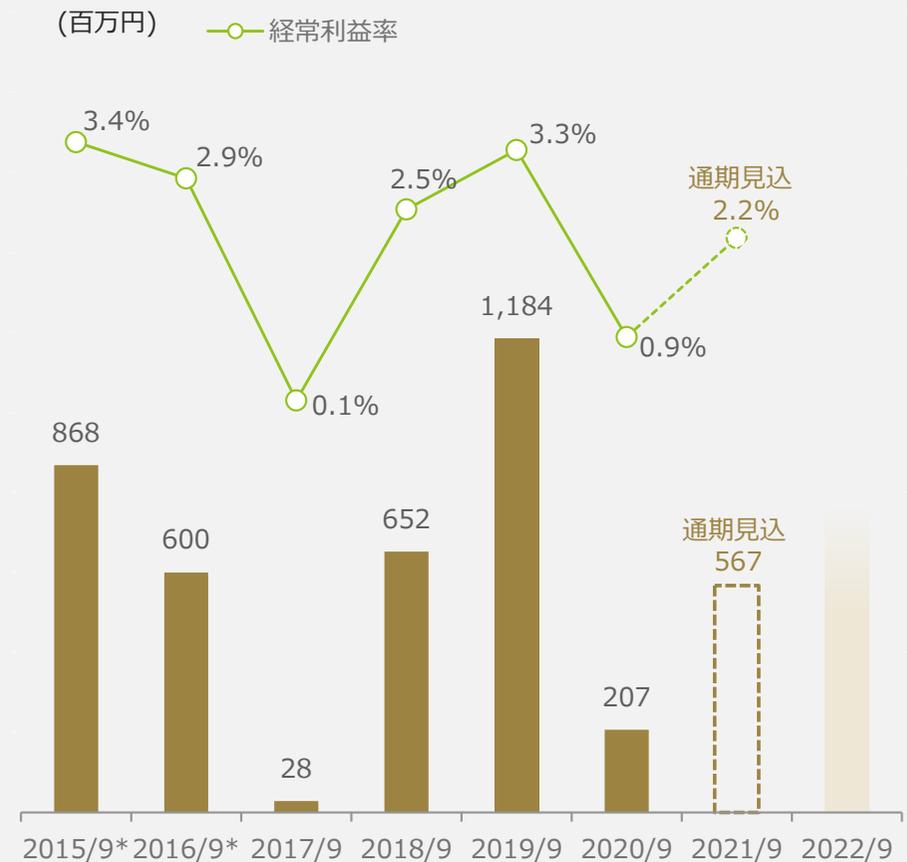
- 狩猟型なため、業績面でのボラティリティ発生は不可避。特に、2019/9期は大型案件の売上が集中した結果、2020/9期はその反動が発生。2021/9期からは改善基調に反転を想定
- コロナ禍もあり、受注端境期からの脱却には時間を要す。現在は次期以降への仕込み局面と位置づけ
- 2022/9期も前年比増収・増益を目指す

売上推移



* 単独決算

経常利益推移





配当方針

- 今後の事業展開と経営体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施
- 配当性向は20%前後を目安とする方針

2021/9期は1株当たり40円を計画

<1株当たり情報の推移>

(円)	2019/9期	2020/9期	2021/9期	
			計画	前期比差異
1株当たり当期純利益	411.31	62.51	190.02	+127.51
1株当たり配当金	40	記念配5円増配 → 45	40	△5
配当性向	9.7%	72.0%	21.1%	△50.9pt

- (注) 1. 配当性向は、1株当たり配当額/1株当たり当期純利益で算出しております。
 2. 2020/9期は、普通配当40円に加え、上場記念配当5円を増配し、1株当たり45円の配当となっております。



業績・財務ハイライト

決算年月		2016年9月*	2017年9月	2018年9月	2019年9月	2020年9月期	2021年9月期 3Q
売上高	(千円)	20,521,030	19,060,958	25,715,941	36,109,029	21,996,890	21,472,031
経常利益	(千円)	600,103	28,463	652,381	1,184,035	207,244	800,670
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	391,391	242,509	357,645	732,959	120,839	540,101
包括利益	(千円)	–	290,524	396,399	735,628	141,111	569,270
資本金	(千円)	123,000	123,000	331,507	331,507	536,169	536,669
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	4,920	4,920	1,784,000	1,784,000	1,954,400	1,955,400
純資産額	(千円)	2,451,309	2,905,240	3,682,163	4,340,511	4,817,569	5,296,295
総資産額	(千円)	7,385,322	12,047,141	12,875,910	12,814,634	13,414,303	11,593,568
1株当たり純資産額**	(円)	496,916.47	2,870.05	2,016.04	2,376.58	2,408.78	2,645.54
1株当たり配当額	(円)	4,000	4,000	40.0	40.0	45.0	–
1株当たり当期純利益**	(円)	79,713.23	246.95	323.64	411.31	62.51	276.31
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	–	–	–	–	61.85	274.73
自己資本比率	(%)	33.0	23.4	27.9	33.0	35.1	44.6
自己資本利益率	(%)	17.4	9.0	11.2	18.7	2.7	11.5
配当性向**	(%)	5.0	8.1	12.4	9.7	72.0	–
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	▲718,460	962,625	2,764,536	▲1,906,273	–
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	107,722	▲52,847	▲91,784	▲63,598	–
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	▲7,334	203,275	▲213,022	238,372	–
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	–	2,589,499	3,702,552	6,162,281	4,430,782	–
従業員数	(人)	96	147	153	155	157	163
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(3)	(37)	(38)	(39)	(54)	(57)

*単独決算

**2018年9月13日付で株式分割(1:200)を実施。2017年9月期期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び配当性向を算定しております。



ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン
IRサポート担当
TEL : 06-6387-1554
Email : ir-support@leoclan.co.jp